

新宮団地市営住宅(№.2 6号棟)建替建設(機械設備)工事

設 計 図

図面リスト	
M-01	機械設備工事 特記仕様書1
M-02	機械設備工事 特記仕様書2
M-03	機械設備工事 特記仕様書3
M-04	全体配置図・配置図・付近見取図
M-05	器具表 機器表 保温・塗装仕様 各種参考図
M-06	屋外給排水配管平面図・布設断面図・内副管配管詳細図・断面図・汚水栓リスト
M-07	給排水衛生設備 平面図・ガス給湯器廻り参考図
M-08	換気設備 平面図

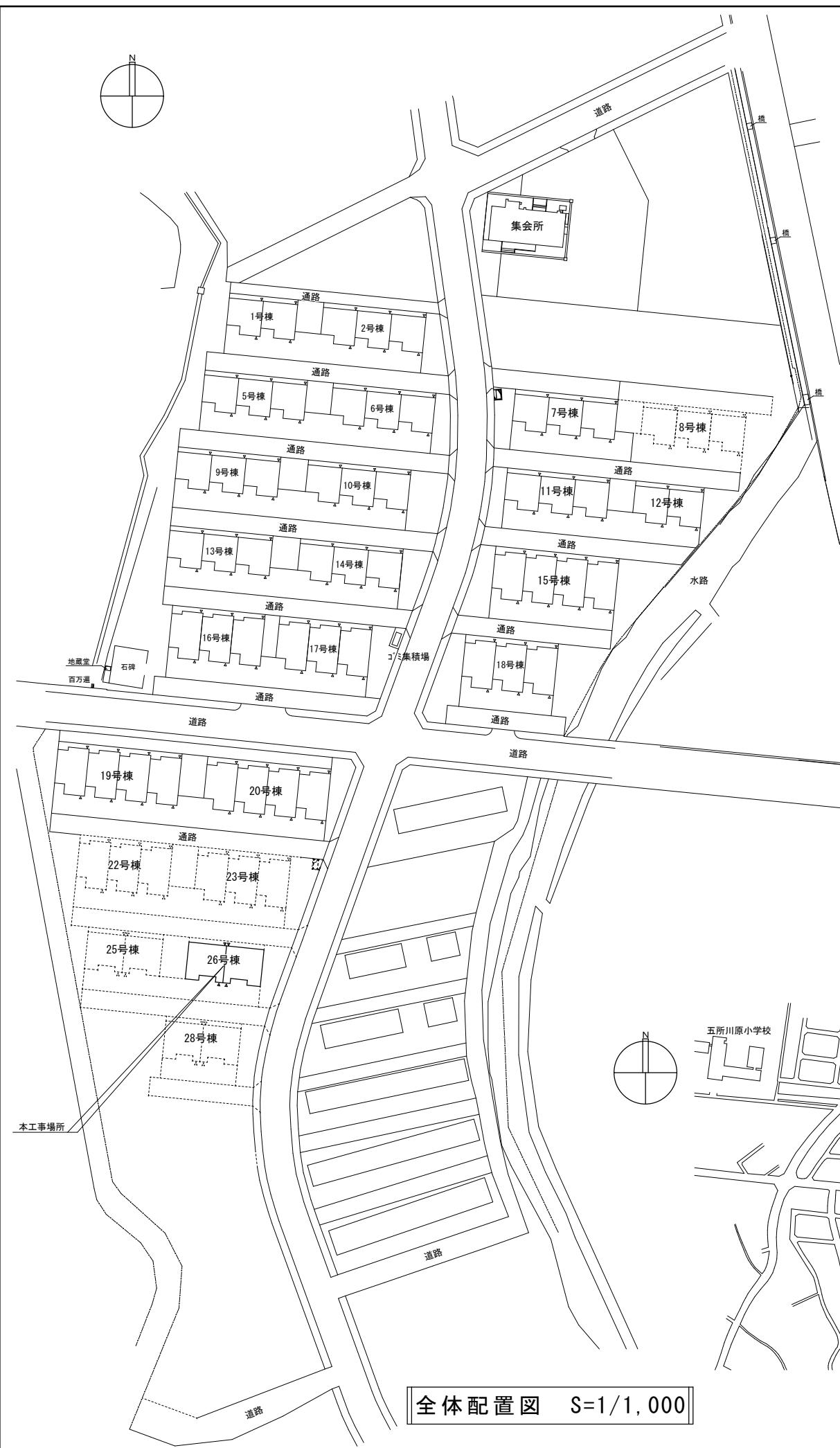
有限会社 秀建築設計事務所

機械設備工事特記仕様書												
一般共通事項	項目	特 記 事 項			項目	特 記 事 項						
	① 施工概要	⑨ 技能士の適用	○ 配管施工 (配管工事) ・ 建築板金施工 (ダクト製作及び取付け) ○ 熟練施工 (保温工事)			⑩ 試運転調整	各機器の個別運転調整後には下記の総合調整を行い、測定報告書を監督職員に提出する。					
		新宮団地市営住宅 (No.26号棟) 建替建設 (機械設備) 工事	・ 冷却空気調節機施工 (チリングユニット・パッケージ形空気調和機の搬付及び整備)	・ 室内外空気の温湿度測定	・ 室内空気流及びじんあいの測定		・ 騒音測定					
	2. 工事名称	⑩ 技術検査	工事途中における技術検査 (「中间検査」) の検査時期は次により、監督職員と協議すること。改修工事も新宮工事に準じて行う。			端末水栓の残留塩素濃度による。(管種は表「配管材料」によるものとし、その他の表は示すものによる。)						
	3. 工事場所	⑪ 監督職員事務所	○ 構機が改修工事等で隠ぺいされる前の (原則1回)			2) 特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。						
	3. 建物概要	⑫ 工事用電力・水・その他	・ 主要な機器が水没等により不可視となる前			3) 鋼管用伸縮緩衝手の種類 ※ ベローズ形 (※ 横式・単式) ・ スリーブ形						
建物名稱	用途	消防法施行令別表第1の区分	構造	階数	延べ床面積 (m ²)	4) フレキシブルジョイントの全長 ※ 標準仕様書による						
26号棟	長屋 (公営住宅)	5階口	木造	平家建	161.19	5) スリープは標準仕様書によるほか、下表による。						
(印の付いたものを適用する)							スリープ区分	材質				
建物別及び屋外		工事種別 (新設・改修区分)					ピット⇒土間、ピット⇒外部土中の梁・壁販道	つば付鋼管				
・ 空気調和設備	屋内			屋外			地中梁及び多混ピット内の梁・壁販道 (ピット換気を除く)	硬質塗装ビニル管 (V.P.)				
⑩ 暖気設備	新宮一式											
・ 排気設備												
・ 自動制御設備												
⑬ 浴室器具設備	新宮一式											
⑭ 給水設備	新宮一式											
⑮ 排水設備	新宮一式											
⑯ 暖氣設備	新宮一式											
・ 消火設備												
⑰ ガス設備	新宮一式											
・ 廚房機器設備												
・ 清化槽設備												
・ 雨水利用設備												
・ 昇降機設備												
・ 給油設備												
・												
5. 指定部分及び施工条件	※ 無し	・ 有り	()									
工期: 令和 年 月 日												
設備概要	① 印の付いたものは、主要方式を示す	・ 空気調和	・ 全空気方式 (・ 定風量 ・ 变風量) ・ ファンコイル・ダクト併用方式	・ パッケージ方式								
		・ 温暖暖房	・ 温暖暖房方式 (ファンコイル・ダクト併用方式)	・ 全空気方式 (・ 定風量 ・ 变風量)								
		・ 直接暖房	・ 温暖暖房方式	・ 热泵暖房方式	・ 温暖暖房方式 (F F式)	・ 連赤外線ふく射暖房機						
		・ 冷房	・ 空冷式	・ 水蓄熱式	・ 水冷式	・ 得来設置を考慮						
		・ 主たる熱源機器	・ ポイラー	・ 温水発生機	・ 真空式	・ 無圧式	・ チラリングユニット					
			・ 空気源ヒートポンプユニット	・ 吸收冷温水機	・ 一重効用	・ 二重効用						
			・ 冷凍機	・ 送心式	・ スクリュー式	・ 吸収式						
		自動制御方式	・ 電気式	・ 電子式	・ デジタル式							
		給水方式	○ 水道直結方式	・ 高置水槽方式	・ 加圧送水方式	・ ボンブ直送方式	・ 直結増圧方式					
排水方式	建物内の污水及び離排水	(○ 分流式)	・ 合流式)									
	建物外の污水及び離排水	(○ 合流式)	・ 分流式)									
	放流水	汚水	(○ 下水道直接式	・ 合併浄化槽)	最終 ()							
			・ 下水道直接式	・ 合併浄化槽	・ 側溝	・ 別途樹)	最終 ()					
		離排水	(○ 下水道直接式	・ 合併浄化槽)	・ 別途樹)							
			最終 ()									
給湯方式	○ 局所式	・ 中央式										
		・ 屋内	・ 連絡送水管	・ 粉末消火設備	・ 屋外消火栓	・ 泡沫消火設備	・ フード等用簡易自動消火装置					
				・ シプリングラー	・ 不活性ガス消火設備	・ 一二酸化炭素	・ 空素	・ I G-55	・ I G-54.1	・ 消火器		
ガス設備方式	都市ガス	種別 ()	・ 高位発热量 MJ/Nm ³	・ 低位発热量 MJ/Nm ³	(供給圧力 P a)							
		・ 液化石油ガス	・ 一般ガス導管事業者名 ()									
II. 工事仕様												
1. 通事項												
1) 質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、全て公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建設工事共通仕様書 (平成28年度版)」、国土交通省大臣官房庁舎監修部監修の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編・平成31年度版)」 (以下「改修標準仕様書」という。) 及び「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編・平成31年度版)」 (以下「改修標準仕様書」) によって規定される。												
2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様は (/) 図、建築工事の特記仕様は (/) 図による。												
2. 特記事項												
1) 項目は番号に印の付いたものを適用する。												
2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。 (印のない場合は、印と (印) のある場合は、共に適用する。)												
一般共通事項	項目	特 記 事 項			項目	特 記 事 項						
	① 書類の書式等	※ 別途に定める書式			・ 監督職員の指示による	⑪ 試験	各機器の個別運転調整後には下記の総合調整を行い、測定報告書を監督職員に提出する。					
	2. 構成工期	日前					・ 風量調整	・ 水量調整	・ 室内外空気の温湿度測定			
	3. 電気保安技術者	適用する。			工事現場によく電気保安技術者は、公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 第1編第1章第3節1.3.2による。		・ 飲食水の水質測定	・ 雨水の水質測定	・ 騒音測定			
	4. 通用区分	建設省告示第1455号における区域 別表 ()			工事期間に停止させない設備 ※ なし		・ 鋼管水栓の残留塩素濃度による。	・ 管種は表「配管材料」によるものとし、その他の表は示すものによる。)				
	5. 施工条件				1) 本工事に使用する材料及び機器等は、設計図面に規定する品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するもの、又は、これらと同等のものとする。また、機器類の能力・容量等は表示された数値以上とし、電動機出力、消費電力、燃料消費量・圧力損失は原則として表示された数値以下とする。		2) 重重量機器は次のものとし。 (水槽類にはオイルタンクを含む。)					
	6. 機器の品質等				2) 本工事に使用する材料及び機器等が、1) を満たすことの証明となる資料を、監督職員に提出し、承認を受ける。		・ 給水機器 ()	・ 排水機器 ()	・ 換気機器			
	7. 特別な工法				3) 評価基準による機器等		・ 防災機器 ()	・ 監視制御設備	・ 危険物貯蔵装置			
8. 機器の搬入				4) 構造用船体地盤は、設計用水平地盤の1/2とする。	・ 空調機器		・ 火を使用する設備	・ 避難経路に設置する機器				
3. 建物構造							5) 配線・配管及びダクトの支持	※ 標準仕様書及び標準図による				
4. 建物内装							6) 設計用船体地盤は、標準仕様書による。					
5. 施工方法							7) 設計用船体地盤は、設計用水平地盤の1/2とする。	標準仕様書に記載される試験を行い、測定表を監督職員に提出する。				
6. 施工機器							溶接接頭の非破壊検査 対象配管系統	・ 冷温水	・ 冷却水	・ 消火 (水用)	・ 油	・ ガス

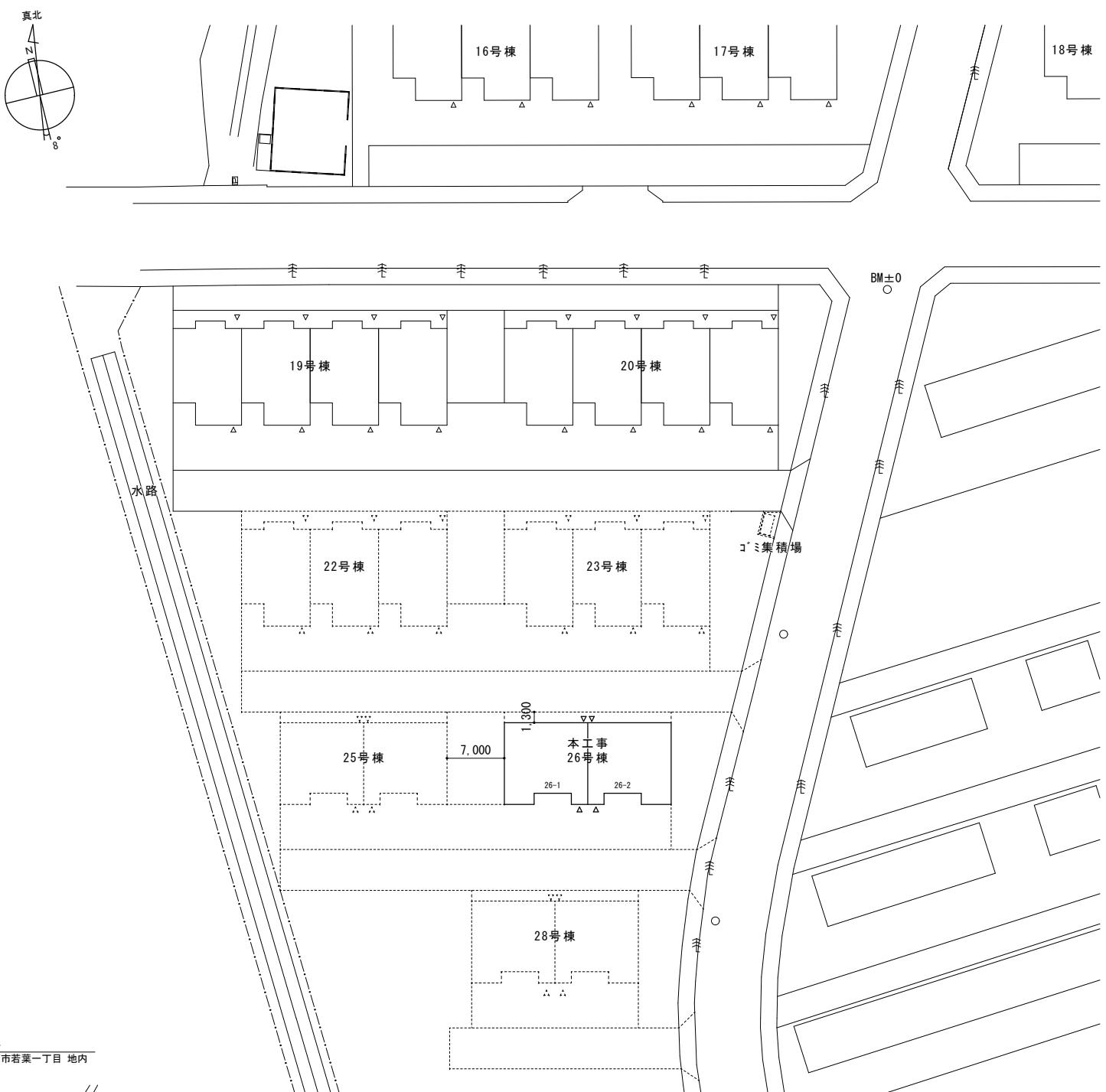
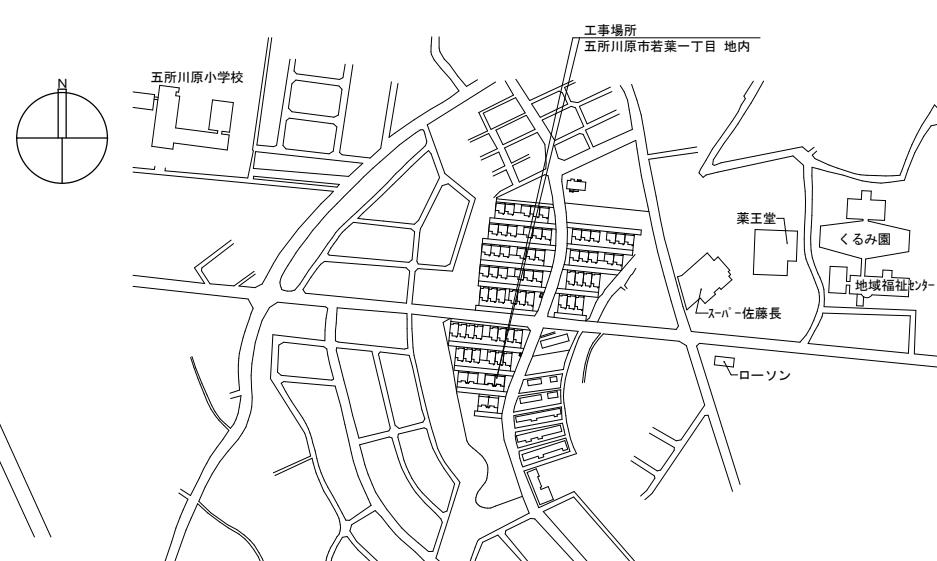
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																					
① 一般共通事項	30. あと施工アンカー	1) ※ 接着系アンカー（接着剤※ 有機系・無機系）・金属抵係系アンカー（本体打込み式） ただし、配管・ダクト・機器等の天井より下げるアンカーには、接着系アンカーを使用しない。 2) 性能確認試験・行わない・行う施工後確認試験・行わない・行う 危険物に設置する際に屋外に設ける表示板は、樹脂製・アルミ製とする。 電線及びEMケーブルは標準仕様第4編 1. 5. 1表4. 1. 11による。 1) 本工事において、国による環境物質等の規制の推進等に對する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「青森県環境物品等調達方針」による特定調達品目の判断の基準を満たすものとする。 ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。 2) 建築物内部に使用する材料等は、特に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④まで満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積材、MDF、パーティクルボード、他の木材建具、ユリア樹脂板、壁紙、紙質建具、絵画材、断熱材、塗料、仕上材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、特に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料はホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（タルタル酸ジーハーフテル及びタル酸ジーエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④接着剤・塗料等の使用に当たっては、運搬方法や使用量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の風風換気を行ない、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。 ⑤の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 3) 特記に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド免収建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド免収建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 4) 施工に当たっては、低騒音型・低振動型及び接合ガス對策建設機械を使用する等、周辺の環境に配慮すること。	④ 空気調節設備	5. ダンパー 6. 煙突 7. 鋼板製煙道 8. 弁類 9. 緊急遮断弁類 10. チャンバー 11. 注油口及び指示ボックス 12. ステンレス鋼管 13. 温水バルヒーター 14. 電気バルヒーター	1) 防煙ダンパー 復帰方式 ※ 遠隔式（電気式、定格入力DC24V0.7A以下） 2) ビストンダンパー 復帰方式 ※ 遠隔式 ※ 別途・本工事（鋼板厚 mm・高さ m以上）とし、図示による 煙道径 300mm以下は鋼板厚 3.2mmとし、300mmを超えるものは4.5mmとする 煙道を設置する場合、はいん測定口（口径100φ、タッピング）を設ける。 ※ JIS X 6344-1・JIS X 6344-2（図示による） 1) 冷温水コイル及び蒸気加熱コイル組（標準図 施工3.5・3.9）の弁は仕切弁とする。 2) 冷温水管の内径 6.5mm以上の弁は、各部にタフライ弁とする。 3) ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 オイルサーバーに搭載する緊急遮断弁は、停電時に閉じるタイプとする。 1) 空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系統で消音貼りしたチャンバーには点検口を設ける。 なお、大きさは図示による。 2) 外壁に面するラバリに直接取り付けるチャンバーは雨水の漏留のないように施工する。 標準図（機材7）による。 ・異形・共用形（・容量指示計・ローリーステップ） カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト ※ 垂直鉄板・自己消火性のポリスチレンフォーム製 ※ 鋼板製・アルミ製とする。 1) ケーシングはステンレス製とする。 2) 便所に設置する場合は、操作部にいたずら防止カバー付とする。	⑩ 排水設備	① インバート泵 2. ため池 ③ 樹脂製樹 4. 雨水樹 5. グリース阻集器 6. 間接排水 7. 清水試験手 ⑧ 衛生器具と配管接続要領 ⑨ 試験 ⑩ その他	※ 樹脂製樹（小口径樹）・コンクリート製樹（・国土交通省仕様樹・頂部補強を施した市販重ね樹・日本下水道協会規格樹） ※ コンクリート製樹（・国土交通省仕様樹・頂部補強を施した市販重ね樹・日本下水道協会規格樹）・樹脂製樹 樹脂製樹（小口径樹）は、プラスチック・スマッシュボール及び日本下水道協会規格に準ずる。 雨水排水用樹は、配管エルボによるラップ加工とする。 工場製品で実容量が 1.0m ³ 以下のものは（※ ステンレス鋼板製・FRP製）とし、設置箇所は図示による。 次もののは間接排水とする。 3段以上にわたる排水立て管には、各階ごとに取付けける。 標準図 施工6.3（①（a）・②（b）・③（c））・施工6.4（④（a）・⑤（b）） 1) 排水管は衛生器具等の取付け完了後に排水試験を行う。 2) 煙試験を（※ 行わない・行う） 別途工場製作流のトラップは別途工具とするが、接続は配管（硬質塗化ビニル管でもよい）とし本工事とする。	⑪ 給湯設備	1. 貯湯槽 2. 貯湯式電気温水器 ③ 弁類 ④ 清水混合栓 ⑤ 溝漏器の排気筒	※ ステンレス鋼板製（SUS304・SUS304L・SUS316・SUS316L・SUS444） 選択タイプを（※ 取付けない・取付けない）・制御盤に給電機能を（・組み込む・組み込みない） ※ JIS B 2011・2003又はJV同性能品 ※ 5K ⑩ 10K ・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 逆止弁機能（※ 有り・なし）とし、（⑥シングルレバ式・サーモスタット式 ⑦ 2バルブ式）とする。 ※ 機器付属品（SUS304製）・標準仕様書（第5編1・3・8）による。	⑫ 消防設備	1. 屋内消火栓 2. 2号消火栓の圧力損失 3. 屋外消火栓BOX 4. 弁類	壁埋込形 露出形 天井埋込形 一般形 易操作形 消火器箱 火災報知器 放水口	1) 下記送水管に取付けた弁は16Kとする。 2) 屋内消火栓開閉弁は10Kとする。 3) その他は（※ JIS 10K・JIS 20K）とする。 消火栓ボブン用制御盤（ユニット）には、起動リレーを取付ける。	⑬ ガス設備	① 縦メータ ② 充てん容器 ③ 集合装置 ④ 容器転倒防止装置 ⑤ パルクランク ⑥ ガス漏れ警報器 ⑦ 緊急遮断弁 ⑧ その他	ガス事業者からの貸与品。 貸与品（※ 5.0kg・kg 2本） ※ 標準図 施工7.2（①（a）・②（b）・③（c））・図示による ※ 標準図 施工7.3（①（a）・②（b））・図示による ・設置しない・設置する 1) 図示の箇所に取付ける。（・一体形・分離形） 2) 外部出力端子（・有り・無し） ※ 取付ない・取付ける（ガス漏れ警報器と連動して動作するものとし、系統は図示による） 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 ガス供給事業者名	⑭ 自動制御設備	1. 工事区分 2. 中央監視制御 3. 計算工事の記録 4. 電動弁 5. 弁耐圧 6. その他	※ 本工事・電気監視工事 1) 中央監視制御装置のシステム構成機能は認定による。 2) 表示装置の型式は（※ デスクトップ形・コンパクト形・壁掛け形）とする。 3) 屋外及び屋内露水の配線は、図面に特記がない限り配管内配線とする。 4) 天井内露水の配線は、図面に特記がない限りケーブル配線とする。 開閉状態の遠方表示用接点を・設ける・設けない	1. 屋房システム 2. 屋房機器類 3. 付風制御盤 4. 機器の簡易 5. 付属品（弁類）	※ ドライシステム・ウェットシステム・セミドライシステム 図示による（材質等は標準仕様による）。ただし、記載寸法は標準とする。 機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。 標準仕様書（第5編1・6・12）によるとほか、下記の機器は標準図（施工7.4）により認定する。 ※ JIS B 2011・2003又はJV同性能品 ※ 10K・5K	⑮ 浄水設備	1. 建築用途 2. 処理能力	（建築物の用途別による原床面積換算係数による） 1) 処理対象員 人 2) 流れ水量のBOD濃度 mg/L（BOD除去率 %以上） 計算汚水量 m ³ /日（流れ汚水のBOD濃度 mg/L）	1) 室内温度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。 2) 電動用電流計は最大自盛電流計とし、赤色指針付きとする。	⑯ 雨水利用設備	① 衛生器具 ② 大便器洗浄方式 3. 大便器用洗浄弁 4. 身障者用洗浄弁 ⑤ 大便器用便座	※ 部材（防震機能を有する）・一般形 ○ 洗浄タップ方式（・洗浄弁方式（不凍結節水弁付） ※ 洋風便器の洗浄水量は、節水I型は5.0L/回以下、節水II型は6.5L/回以下とする。 ・センサー式・タッチスイッチ式・手動式 ※ センサー式・タッチスイッチ式・くつら式押ボタン ※ 暖房便座（・脱臭機能付・擬音装置付）・普通便座 ・温水洗浄便座（・貯湯式・瞬間式）・節電機能・脱臭機能付 ・温水洗浄便座（・温風乾燥機能）・擬音装置・リモコン） 温水洗浄便座への給水は市水を接続する。	※ ユニコット（FRP製）・現場施工形（縦体は建築工事） 設置スペース 約 × × W ・相 × V × kW 図示による。	16 雨水利用設備	1. システム構成 2. 量水器 3. 弁類	図示による。 ・直読式・パルス式 図面に特記なき場合は、JIS又は5Kとする。	1) 最下階の床下（ビットを除く）配管に接続する場合 ※ 並形・フランジ形 その他の場合 ※ フランジ形・並形 便房内正面壁から便器先端までの寸法は300mmを標準とする。 1) 取付する。（最下階の床下・ビットを除く） 2) 器具接続部の配管には耐震配管を接続する。 ※ 間隔感知式（※ 壁埋込形・露出形・陶器組込形）・押しボタン式 ※ 流洗水は、4.1ノ回しとし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 電源供給方法 ※ AC電源（制御盤及び電源コード等を含む）・乾電池・自己発電 ※ 設けない・設ける（※ 陶器製・樹脂製）（対象器具は図示による）	17 男湯機器設備	1. 共通事項 2. 耐震措置	図面及び付記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房庁舗部監修の共共建築工事標準仕様書（機械設備工事編・平成31年度）による。 次の事項には第1章2.3項の「耐震措置」による。 1) アレバーター・設置機器の固定等は、すべて「男湯機器技術基準の解説2016年版」による。 2) 耐震安全性の分類は（・S 14・A 14）とする。 3) 地域系数は（・0.9・※ 1.0）とする。 3. 管制運転等 ・地震時管制運転・閉じこめ時リスタート運転・緊急地震速報連動運転 ・火災時管制運転・自家発電時管制運転・停電時救出運転・ピット冠水時・浸水時管制運転 4. 身体障害者用付加仕様	※ 付加する・付加しない	⑰ 空気調節設備	1. 設計温湿度 2. 水温 3. 量水器及び量水器用附 4. 不凍水栓柱 5. 壁埋込形不凍水栓ボックス ⑥ 弁類 ⑦ 水栓 ⑧ その他	自動交差並列運転し、24時間自動切替ローテーション機能を（※ 付加する・付加しない） 1) FRP製タックルのタンク天板（点検用蓋を含む）を複数板と（※ する・しない） 2) タンク接続用配管のフレキシブル手は合成ゴム製とし、水栓用鋼製取扱台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 3) 受水槽からの吐水配管には、給水用緊急断弁を（※ 設けない・設ける） 量水器 ・貯水品 ・貯水器 ・量水器 ・貯水器 ・量水器用附 注）樹脂製量水器用附（寒冷地用）を使用する場合は図示による。 化粧ケーブル（※ アルミ合金製・合成樹脂製） SUS製とし、鍵付とする。 1) 水道直結部分 ※ JIS B 2011・2003又はJV同性能品 ※ 10K・5K 2) その他の部分 ※ JIS B 2011・2003又はJV同性能品 ※ 5K・10K ・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 1) 屋内水栓（※ 水道水寒冷地用固定コマ式・寒冷地用固定コマ式） 2) 屋外水栓（・寒冷地用固定コマ式） 3) 溝渠室・台所及び厨房用水栓は、治水式と（※ する・しない） 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。	⑲ 青森県五所川原市字不魚住75番地12 TEL0173(35)8885-FAX0173(35)8886 有限会社秀建築設計事務所 一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士三上 昭秀	新宮団地市営住宅（№26号棟）建替建設（機械設備）工事 SCALE non DR. No M-02	DATE H 31. 2 AP CH DR 機械設備工事 特記仕様書 2

⑯ 配管材料	通用 配管種別	新設配管			既設配管材料 (改修)	既設配管接続方法	⑰ 工事区分	項目	内容	対象工事				備考	⑯ 通用	名称	凡例記号	摘要			
		凡例記号	新設配管材料	配管接続方法						建	電	機						摘要	要		
	蒸気給気管	—S—	※ 配管用炭素鋼管 (黒管) ・ 壓力配管用炭素鋼管 (STPG370 (黒管Sch40))					一般	構造躯体 (RC造) の貫通スリーブ又は箱入れ 同上スリーブ及び穴入れ壁面補強	・	※	※									
	蒸気送管	—SR—	※ 壓力配管用炭素鋼管 (STPG370 (黒管Sch40)) ・ 一般配管用ガリッシュ管 (SGP-PB) · 配管用炭素鋼管 (黒管)						同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修 ダクト及び配管等の防水貫通部補修	・	※	※									
	冷却水往管	—CD—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 水道用ガリッシュ管 (SGP-PB)						コンクリート槽類 (防水・仕上げ・断熱・マンホール・タラップ等) 設備機器設置に対する躯体補強及び基礎 (仕上げ含む)	・	※	・									
	冷却水送管	—CDR—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 水道用ガリッシュ管 (SGP-PB)						設備機器設置のアンカ取付及び補修 (RC造) 壁・天井の吹出口、吸込口、換気扇等の開口及び補強	・	※	※									
	冷水往管	—C—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 水道用ガリッシュ管 (SGP-PB)						壁・天井の照明器具、配線器具、盤等の開口及び補強 同上取付用アンカーボルト、金具類の取付	・	※	・									
	冷水送管	—CR—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 水道用ガリッシュ管 (SGP-PB)						各設備の為の床、壁、天井の点検口	・	※	※									
	冷媒往管	—R—	※ 断熱材被覆鋼管 ・ 冷媒用鋼管						洗し台・洗面化粧台	・	・										
	冷媒送管	—RR—	※ 断熱材被覆鋼管 ・ 冷媒用鋼管						洗し台・洗面化粧台用排水金具	・	・										
	温水往管	—H—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 配管用炭素鋼管 (黒管)						洗し台・洗面化粧台用給水金具	・	・										
	温水送管	—HR—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 配管用炭素鋼管 (黒管)						洗し台・洗面化粧台の各種配管・配線接続	・	※	・									
	冷温水往管	—CH—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 耐熱性ガリッシュ鋼管 · ガリッシュ鋼管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒管)						レンジフードファン	・	・	・									
	冷温水送管	—CHR—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 耐熱性ガリッシュ鋼管 · ガリッシュ鋼管 ・ 配管用炭素鋼管 (黒管)						レンジフードファンへの給排気ダクトの接続	・	・	・									
	空調用排水管	—D—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 硬質塩化ビニル管 (VP)						UB等	・	・										
	膨張管	—E—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) ·						UB用給水管 (架橋ポリエチレン管)	・	・										
	空気抜き管	—AV—	※ 配管用炭素鋼管 (白管) ·						上記保溫	・	・										
	油往管	—O—	※ 配管用炭素鋼管 (黒管) · ガリッシュ被覆鋼管 ・ 灯油用被覆鋼管 · 灯油用鋼管						UB用排水管 (設置) · 割グリル (機械設備へ支給)	・	・										
	油送管	—OR—	※ 配管用炭素鋼管 (黒管) · ガリッシュ被覆鋼管 ・ 灯油用被覆鋼管 · 灯油用鋼管						UB用換気扇への排気ダクト接続	・	・	・									
	油通気管	—OV—	※ 配管用炭素鋼管 (黒管) · ガリッシュ被覆鋼管						副グリル設置及び操作盤以降の二次側配管接続	・	・	・									
	市水給水管	— - —	◎ 水道用ガリッシュ粉体ランジ管 (SGP-PB ◎ SGP-PD) ※ 水道用硬質塩化ビニル管 (VP · VP · VP)						UBまでの一次側各種配管・配線接続	・	※	・									
	井戸及び鍾用水管	— -- —	※ 水道用ガリッシュ粉体ランジ管 (SGP-PB · SGP-PD) ※ 水道用ガリッシュ管 (VP · VP · VP)						外構等	化粧用ミンホール・化粧用ハンドホールの充填及び仕上げ	・	・	・								
	給湯往管	— I —	※ ガリッシュ鋼管 · 鋼管 (M) · 保溫付鋼管 ◎ 耐熱性硬質塩化ビニヨウイング鋼管 ◎ 内外面耐熱性硬質塩化ビニヨウイング鋼管 (HTLP)						防災	熱・煙感知器及び活動装置までの配管配線工事	・	・	・								
	給湯送管	— II —	※ ガリッシュ鋼管 · 鋼管 (M) · 保溫付鋼管 · 耐熱性ガリッシュ鋼管 ・ 耐熱性外面被覆ガリッシュ鋼管 (土中部-HTLP)						機器等	機器付属の制御盤及び操作盤までの一次側配管接続	・	・	・								
	汚水排水管		※ 耐火二層管 (· 天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中 ·) ◎ 硬質塩化ビニル管 (VP) (※ 最下階の床下・ピット内 ·)						機器付属の制御盤及び操作盤以降の二次側配管接続	・	・	・									
	排水管		※ 排水用鉛管 (器具接続部) ・ 排水用塗化ビニル管 (※ 露出配管 ·) · 排水用鉛物管 ・ 硬質塩化ビニヨウイング三層管 (RF-VP) ·						室内空気汚染対策	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	・	・	・								
	雨水排水管	— RD —	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · ガリッシュ鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 (VP) · 外面被覆鋼管 (SGP-VS) -屋内埋設部						負担金等	仮設用の上下水道、ガス、電気、通信等の加入金及び負担金 仮設用の上下水道、ガス、電気、通信等に要する費用 本受電後の引渡しまでの使用料金 (基本料金を含む) 本設上下水道、ガスの引渡しまでの使用料金 (基本料金を含む)	・	・	・								
	排水通気管		※ 配管用炭素鋼管 (白管) ◎ 保溫付鋼管 (HTLP) · 耐火二層管						本設通気等の引渡しまでの使用料金 (基本料金を含む) 上下水道、ガス、電気、通信等の加入金及び負担金 埋蔵文化財等の地中障害物調査・撤去・処分	・	・	・									
	屋外排水管		※ 井内硬質塩化ビニル三層管 (RS-VU) ◎ 硬質塩化ビニル管 (VU · VP) · 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 連心力鉄筋コア tube · 排水用ガリッシュ硬質塩化ビニル管 (REP-VU) ・ 硬質塩化ビニヨウイング三層管 (RF-VP)						電波障害調査対策費												
	消防栓管	— X —	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 圧力配管用炭素鋼管 (Sch40) ・ 消火用表面被覆鋼管 (VS)																		
	連結送水管	— XS —	※ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 (白管Sch40)) ・ 配管用炭素鋼管 (白管)																		
	連結散水管	— XB —	※ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 (白管Sch40)) ・ 配管用炭素鋼管 (白管)																		
	スプリンクラー管	— SP —	※ 配管用炭素鋼管 (白管) · 壓力配管用炭素鋼管 (STPG370 (白管Sch40))																		
	二酸化炭素消火管	— CO2 —	※ 圧力配管用炭素鋼管 (STPG370 (白管Sch40))																		
	ガス管	— G —	※ ガリッシュ被覆鋼管 (PLS) · 配管用炭素鋼管 (白管) ・ ガス用ガリッシュ管																		
	液化石油ガス管	— PG —	※ ガリッシュ被覆鋼管 (PLS) ◎ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ ガス用ガリッシュ管																		
	ブライン往管	— B —	※ 配管用炭素鋼管 (黒管) ·																		
	ブライン送管	— BR —	※ 配管用炭素鋼管 (黒管) ·																		
	換気ダクト	— — —	◎ スパイラルダクト (亜鉛鋼板製) ◎ 硬質塩化ビニル管 (VU)							差込み接合											

青森県五所川原市字不魚住7番地12 TEL0173(35)8885-FAX0173(35)8886				新宮団地市営住宅(No.26号棟)建替建設(機械設備)工事							
有限会社秀建築設計事務所				SCALE non DR. No M-03							
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上 昭											
DATE H 31. 2		AP		CH		DR		機械設備工事 特記仕様書 3			



付近見取図



配置図 S=1/500

設計GL=BM+300

青森県五所川原市字不魚住75番地12 TEL0173(35)8885-FAX0173(35)8886			
有限会社秀建築設計事務所			新宮団地市営住宅(No.26号棟)建替建設(機械設備)工事
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号	一級建築士 三上 昭	SCALE 1 / 1,000	DR. No. M-04
1 / 500			
DATE H 31. 2 AP CH DR 全体配置図・配置図・付近見取図			

衛生器具表

室名	名称	仕様・規格・型式(参考品番)	数量	備考
トイレ	洋風便器	BC-ZA10S, DT-ZA180E, CF-18ALJ	2	
	L型棚手すり	NKF-3WU2/LP	2	2連紙巻器付き
LDK	シングルレバー混合栓	SF-WL435SYN(170)	2	
	ヒューズコック	YOF-100F	2	単口型
洗面脱衣室	洗濯機用混合栓	SF-WL63KQAN, A-1897	2	緊急止水弁付き
	洗濯機用排水トラップ	THS	2	差込型木板用
	湯抜栓	20A×600L MT-II-D	2	250口プラスチック製浸透樹共
サンルーム	水抜栓	20A×600L MT-II	2	250口プラスチック製浸透樹共
洗面脱衣室・サンルーム	床用閉鎖器	U-JB	4	

注) 流し台、洗面化粧台、UBの配管接続は本工事。

換気機器表

室名	記号	名称	仕様・規格・型式(参考品番)	数量	備考
LDK	HEU-1	全熱交換器	天井埋込形(電動シャッター付) 能力: 100φ × 25m³/h × 45Pa 電力: 単相100V-21W VL-100ZSD2	2	SW(P-04SWL2)は電気設備工事に支給
洋室 (5帖、6帖、特定寝室)	HEU-2	全熱交換器	壁掛形(寒冷地仕様) 有効換気量: 15m³/h × 11Pa 電力: 単相100V-8.5W VL-08JV2-D	6	SW(P-11SWL2)は電気設備工事に支給 給排気パイプ共
サンルーム	FE-1	換気扇	天井埋込形(低騒音形) 能力: 100φ × 65m³/h × 35Pa 電力: 単相100V-7.2W VD-10ZC12-C	2	
トイレ	FE-2	換気扇	天井埋込形(低騒音形) 能力: 100φ × 62m³/h × 35Pa 電力: 単相100V-7.2W VD-10ZC12-C	2	
HEU-2用	VC-1	壁掛1パイプ取付 タイプ専用フード	100φ, 角形SUS製, 防虫網付 P-50VSQ5	6	指定色焼付塗装
レンジフード用	VC-2	深形スクエア フード	150φ, SUS製, ギヤラリ・防虫網付 AT-150HWS	4	指定色焼付塗装 レンジフード本体は建築工事
HEU-1, FE-1・2 UB親子換気扇用	VC-3	深形スクエア フード	100φ, SUS製, ギヤラリ・防虫網付 AT-100HWS	10	指定色焼付塗装 UB親子換気扇本体は建築工事

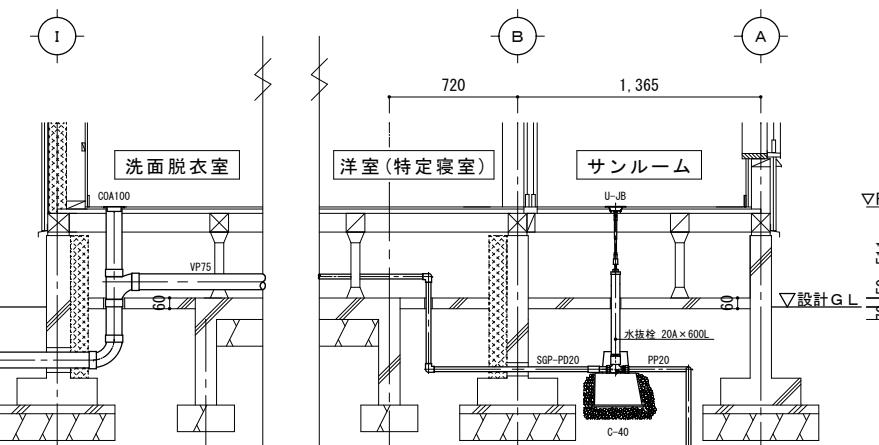
注) レンジフード、UB親子換気扇のダクト接続及びUB親子換気扇の副グリル取付け(洗面脱衣室)は本工事。

保温・塗装仕様

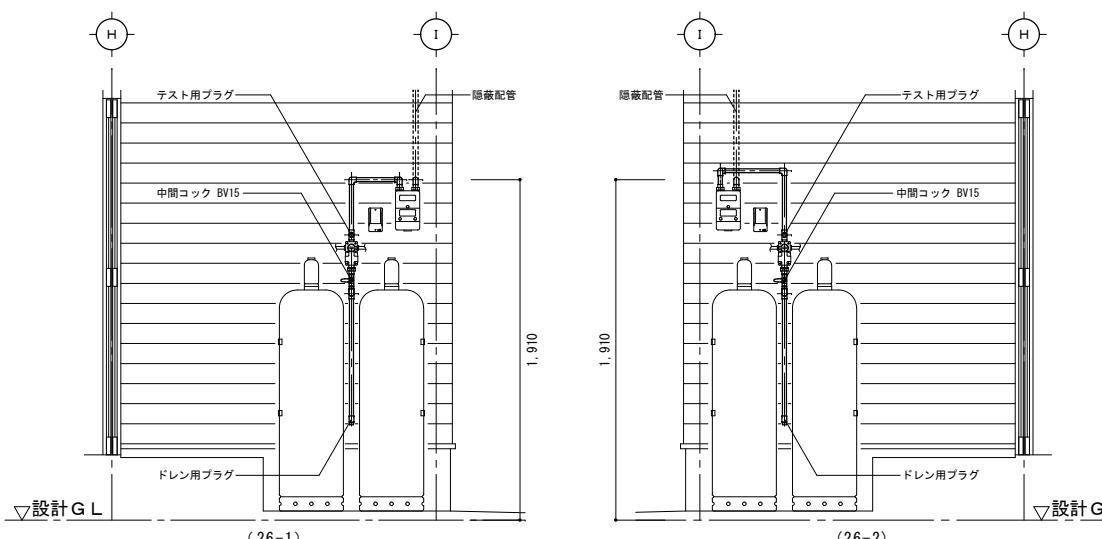
給水管	屋内隠蔽: C2-(ハ)・VII アルミガラスクロス化粧(P)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
	床下: d-(ハ)・VII (P)保温筒t=20+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス
	屋内露出: a2-(ハ)・VII (P)保温筒t=20+粘着テープ+合成樹脂カバー2
給湯管	屋内隠蔽: C2-(イ)・I アルミガラスクロス化粧(R)保温筒t=20+アルミガラスクロス粘着テープ
	床下: d-(イ)・I (R)保温筒t=20+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス
	屋内露出: a2-(イ)・I (R)保温筒t=20+鉄線+合成樹脂カバー2
一般換気ダクト	屋内隠蔽: N-(イ)・XI アルミガラスクロス化粧(R)保温筒t=25+アルミガラスクロス粘着テープ
レンジフード用排気ダクト	屋内隠蔽: h-(イ)・IX (R)保温筒t=50+鉄線+アルミガラスクロス+亀甲金網
ガス管	屋外露出: エッティングプライマー1回+液形変性エポキシ樹脂錆止めペイント1回+調合ペイント(SOP)2回

給湯機器表

室名	記号	名称	数量
洗面脱衣室	WHG-1	ガス給湯器	2
仕様・規格・型式(参考品番)			
型式: FF式壁掛け型 20号 (給湯専用) RUX-V2005FFUA			
給湯ガス消費量: 43.6kW			
電力: 単相100V-56W(ヒーター作動時74W)			
付属品及び給排気筒トップ (TFW-110×750-300C(K)L) 一式			
BV20、フレキシブルチューブ20A×300L×2			
ガス用BV15、ガス用フレキシブルジョイント15A×300L			

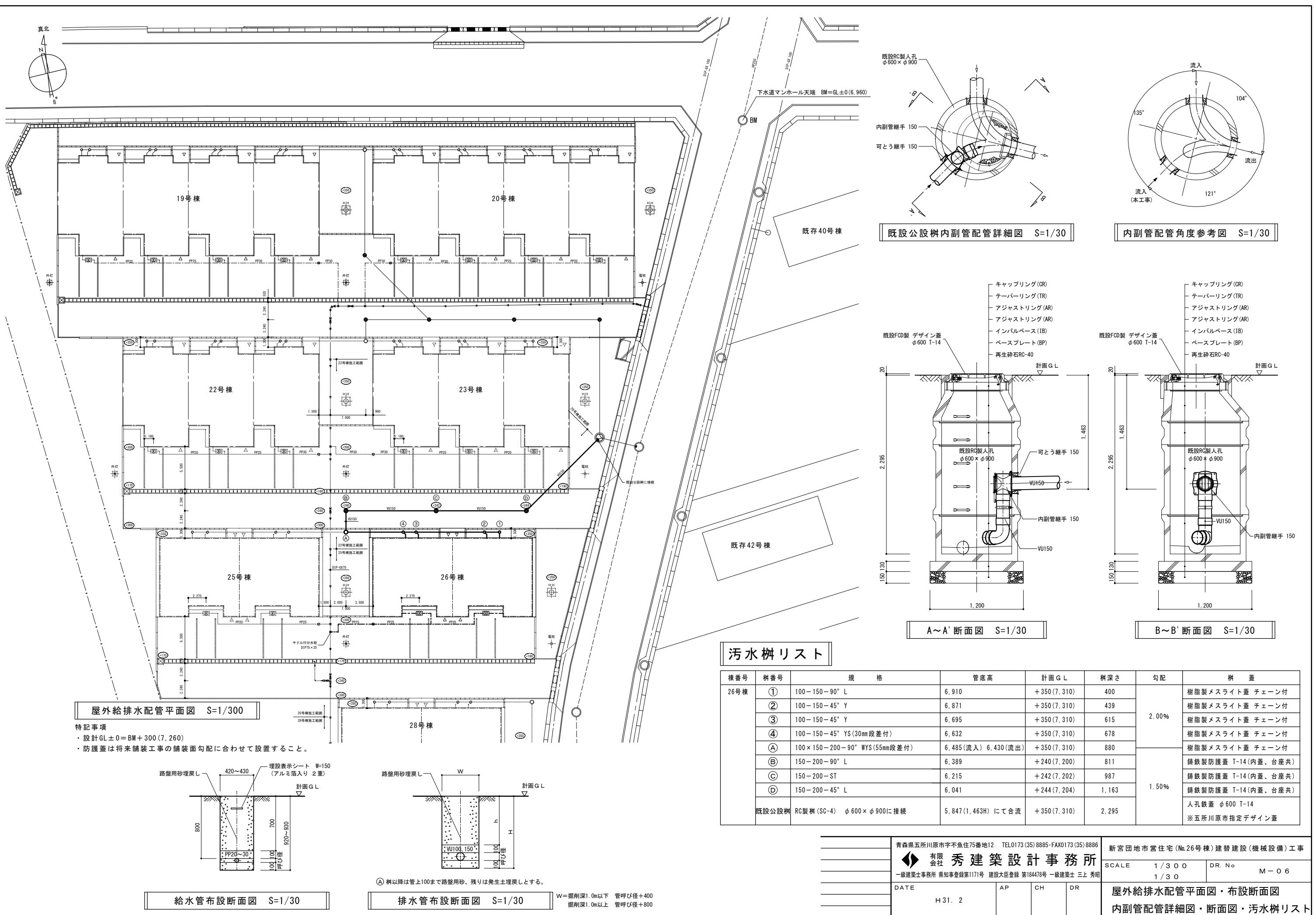


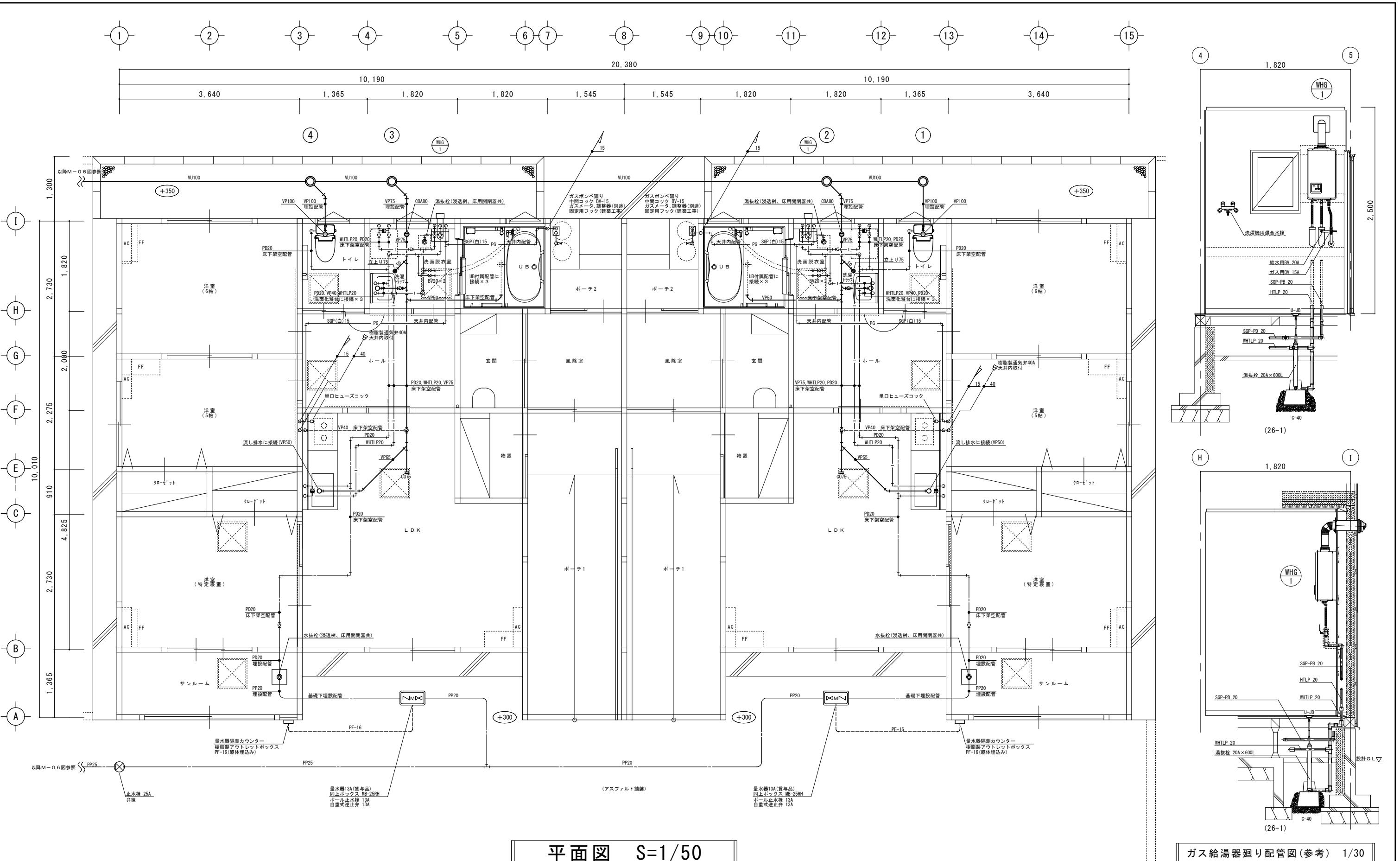
基礎貫通配管断面図(参考) S=1/30



ガスポンベ廻り配管図(参考) S=1/30

青森県五所川原市字不魚住75番地12 TEL0173(35)8885-FAX0173(35)8886	新宮団地市営住宅(No.26号棟)建替建設(機械設備)工事
有限会社秀建築設計事務所	
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上 秀昭	SCALE 1/30 DR. No. M-05
DATE H 31. 2 AP CH DR	器具表 機器表 保温・塗装仕様 各種参考図





青森県五所川原市字不魚住75番地12 TEL0173(35)8885・FAX0173(35)8886	新宮団地市営住宅(№.26号棟)建替建設(機械設備)工事
有限会社秀建築設計事務所	SCALE 1/500・1/300 DR. No M-07
一級建築士事務所 県知事登録第1171号 建設大臣登録 第184478号 一級建築士 三上秀昭	給排水衛生設備 平面図 ガス給湯器廻り参考図
DATE H31. 2 AP CH DR	

